

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「命と心 ～東京大空襲から～」

高岡市立戸出西部小学校
平成23年12月9日実施

【いのちの先生】

白方美智子先生
・元教諭

【授業の概要】

- 1 東京大空襲の経験談
- 2 いただいた「いのち」
- 3 自分の心を見つめる
- 4 いのちの大切さ、人の役に立つように生きる

りょうしんへ

66年前の大空しゅうで、大変な思いをした白方先生の話を知っていると、命がとても大事なものだと思いました。お母さんやお父さんのおかげで、生まれてこれてよかったと思いました。白方先生が言ってくれた話には、こんな話もありました。心が二つありあって、一つ目は良い心、二つ目は悪い心です。私も、良い心だけにしたいなと思いました。これからは、お母さんやお父さんのためにがんばりたいです。

お母さんへ

白方さんの話を聞いて、今、自分が生きているって、とても幸せなんだと思いました。今、自分が生きているのは、お母さんがうんでくれた、たった一つの命を神様からさずかった宝物だとおっしゃいました。今、自分が、どんなにぜいたくをして、どんなに幸せでいるのかがわかりました。お母さん、わたしを生んでくれて、ありがとうございます。

〇〇ちゃんへ

お話を聞いて、命はとても大切、一つしかない命ってことを改めて思いました。その功麿さんの話を聞いて、いつ、どこで、だれが、事故にあうか、わからないということも聞きました。私は、最近、少し命の大切さをわすれてしまっていました。産まれてきた自分の命、一つしかないんだということをおわすれずに、これからもいようこと思いました。

〇〇へ

〇〇が元気に生活していただけることは、あたりまえのことのように思えるかもしれないけど、その当たり前の生活が、とつぜん、こわれてしまうことあると言うことを少しでも考えられて、お母さんは良かったと思うよ。神様が、お母さんのおなかに、〇〇をさずけてくれたことに感謝します。〇〇が、お母さんになる時にも、同じように自分の子供や家族を大切にしてもらいたいです。何よりも、今の自分の人生を大切にしていこうね。これからは、たくさん大変なことがあると思うけど、きっと、〇〇は、のりこえられると思うよ。いっしょにがんばろうね。